

1. MI Theory

ガードナーは *Frames of Mind* (1983) の中で人間には7つの intelligences があるという MI 理論を提唱した。

当時, intelligence といえば, IQ テストによって診断できるもの, または, 読み書き・計算の能力だと考えられていた。したがって, ガードナーが7つの intelligences の存在を示したことは斬新だったと言える。ガードナーの定義した intelligence とは, 生物心理学的な意味で人間に備わっている情報を処理する潜在能力である。そして, それがあつ文化的状況下で起動すれば, その文化の中で必要される解決策を導いたり, その文化において価値ある成果を生みだしたりすることができる。“I now conceptualize an intelligence as a biopsychological potential to process information that can be activated in a cultural setting to solve problems or create products that are of value in a culture” (Gardner, 1999, p.34). さて, その後, ガードナーは 7 つの intelligences に, もう一つ intelligence を加え, 現在, 8 つの intelligences の存在を確認している。それぞれの intelligences をガードナー (1999) は次のように定義している(p.41-48)。

Definition of Terms

- ・Linguistic (言語的) intelligence: 話し言葉や書き言葉への鋭敏さ, 言語習得能力・言語駆使能力。
- ・Logical-mathematical (論理的かつ数学的) intelligence: 問題に対する論理的な分析力, 数学処理能力, 科学的思考能力。
- ・Spatial (空間的) intelligence: いかなる空間をも把握し処理する能力。
- ・Bodily kinesthetic (身体的かつ運動感覚的) intelligence: 問題解決, もしくは何かを創造するために身体を動かす能力。
- ・Musical (音楽的) intelligence: 音楽の演奏, 作曲, 鑑賞する能力。
- ・Interpersonal (社交的) intelligence: 他人の意思, 動機, 希望などを理解し, 他人と上手に意思疎通する能力。
- ・Intrapersonal (内向的) intelligence: 自分を理解し, 希望, 恐怖などに対する自分の情動を把握し, 自分の生活を上手く統制する能力。
- ・Naturalist (博物学者的) intelligence: 動植物, 自然界などを識別するための能力。

MI 理論によれば, 個々人には 8 つの intelligences が備わっているが, それぞれの intelligences の優劣は人によって異なる。例えば, ガンジーは高い Interpersonal intelligence を持ち, ピカソは優れた Spatial intelligence の持ち主であり, ダーウィンは Naturalist intelligence が強い。このように intelligences のプロフィールは人間一人ひとりによって異なる (Gardner, 1993)。